



青森大学
AOMORI UNIVERSITY

次世代の地域社会、経済を支える若者の育成を担います。

むつ、青森、東京の3キャンパスを結び、世界と繋がる。

未来に向けてあらゆる可能性を創出します。

青森大学 むつキャンパスが 新しいむつ下北を創る



青森大学 学長
澁谷 泰秀

青森大学は、学生の皆さんがあなたが多様な課題にチャレンジして成功体験を積み重ねることで、自信をもって社会に出るための準備の場です。教職員全員が、大学の主役である学生の皆さんの成功を支援するために教育活動を展開しています。私は「学生が輝く大学」を基本に大学運営を行っていきます。

むつキャンパスは今年で2年目を迎ますが、まじめで勤勉な中にも好奇心旺盛なむつキャンパス独特の学生気質が芽生え始めています。今後3年間で全ての学年が揃い、むつキャンパスとして完成年度を迎えるわけですが、むつ市を中心とした下北地域の高等教育を担い、地域の振興に資する実践力を身につけた卒業生を送り出すべく確かな教育を進めています。



キャンパス長
今井 啓之

四年制大学の開設はむつ下北にとって長年の悲願でした。むつ市の行動力と青森大学の英断があればこそ実現出来たものと思っています。現在むつキャンパスでは1・2年次の学生が学んでいます。卒業後の自己実現に向かって皆学問に邁進しています。私達教職員は、学生が学ぶことに喜びを見出せるようなキャンパスの実現に努めてまいります。そして、私には大事な使命が課せられています。それはキャンパス長として学生を我が子のように見守ることです。

むつ下北の高校生の諸君!私達は皆さんを待っています!

下北圏域5市町村と 包括連携に関する協定締結 むつ下北新時代の幕開け

むつキャンパスの開校を契機に下北圏域5市町村（むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村）と青森大学との包括連携に関する協定を締結しました。

下北地域の学術研究をはじめとして、まちづくりや様々な分野において相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与していきます。そして、下北圏域定住自立圏共生ビジョンの将来像やその実現に向けて共に推進していきます。

数年後には、むつの街に大勢の若者が集い、新しいむつ下北の未来を創っていきます。



DX時代の新しい学び むつ-青森-東京

対面講義に加え、IT技術を駆使し、むつ・青森と東京をリアルタイムで繋ぐインラクティブなオンライン講義も組み合わせて展開します。

1・2年次は東京キャンパスで履修できます。
3・4年次は、インターンシップや就職活動に東京キャンパスを利用でき、それらの関連科目を受講できます。

総合 経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部
1年次	むつ/東京/青森	
2年次	むつ/東京/青森	
3年次	むつ/青森	
4年次	むつ/青森	

むつキャンパスのいいところ聞きました!

在学生の
声を聞きました!!



山口 溪聖 さん
総合経営学部 1年
青森県立大湊高等学校出身



羽立 咲乃介 さん
総合経営学部 1年
千葉県立八千代東高等学校出身



工藤 静々流 さん
総合経営学部 1年
青森県立大湊高等学校出身



大久保 奎 さん
社会学部 1年
学校法人石川高等学校出身



長内 桃香 さん
社会学部 2年
青森県立大湊高等学校出身



松尾 祈 さん
社会学部 2年
青森県立大湊高等学校出身



北上 佳乃 さん
ソフトウェア情報学部 2年
青森県立田名部高等学校出身



佐藤 礼 さん
ソフトウェア情報学部 1年
青森県立田名部高等学校出身



渡辺 叶愛 さん
ソフトウェア情報学部 2年
青森県立田名部高等学校出身

MESSAGES from the students



[東京キャンパス移動学生]
剣地 透也 さん
総合経営学部 総合経営学科 2年
青森県立田名部高等学校出身



[青森本校移動学生]
新田 優志 さん
社会学部 社会学科 社会福祉コース 2年
青森県立田名部高等学校出身



[むつキャンパスで学ぶ学生]
坂本 翔琉 さん
社会学部 社会学科 コミュニティ創成コース 2年
青森県立田名部高等学校出身

幼少期から東京での生活に憧れていたので、キャンパス間移動ができる事を知った時、今しかないと思い移動を決めました。東京キャンパスは施設が広く、運動好きな私としては、グラウンドや体育館があるところがお気に入りです。また、留学生と一緒に様々な交流をしたいです。

4月からアパートで初めての一人暮らしをしています。キャンバスまでは徒歩で20分、自転車で10分ほどの距離です。近くにコンビニやスーパーがあり、駅までは徒歩10分くらいと過ごしやすいです。

これからの1年間、アルバイトやボランティア活動に積極的に挑戦し、社会経験を積みたいです。

2年次から青森本校に移動しました。社会福祉士を目指して勉学に励んでいます。むつキャンパスで一番印象に残っていることは、学生も教職員もみんなが優しく相談しやすい環境と、地域活動やボランティア活動に積極的に参加したことです。中学高校時代は、人と話すのがあまり得意でなく消極的でしたが、たくさんの人と交流し地域に貢献した1年を通して、少しずつ明るい性格になったと感じます。

資格取得を目指すのはもちろんですが、初めての一人暮らしも頑張りながら、私生活や学校生活も充実させるべく、心機一転!昨年以上にアクティブに生活していきたいです!

むつキャンパスは設備が綺麗なのはもちろん、講義の合間に休憩時間に隣の公園に行き、リフレッシュできるところが魅力的です。

また、学生・教職員が一丸となって地域の行事に参加する機会が多く、いつも新鮮な経験をすることができます。

入学後の1年間、オープンキャンパスで学部紹介や司会を担当し、人前で話すことへの抵抗を感じることが少くなり、自分自身が成長したと感じています。

むつ市の大学という点を活かして、今後はもっとボランティアや地域の行事に参加して、むつ市の人達との横のつながりを広げていきたいです。

CONTENTS

- 03 MESSAGES
- 05 むつ下北を知る
- 07 総合経営学部 紹介
- 09 社会学部 紹介
- 11 ソフトウェア情報学部 紹介
- 13 就職サポート
- 15 キャンパスライフ
- 17 施設マップ
- 18 関連機関

青森大学むつキャンパス ×

む つ 下 北 を 知 る



青森大学のカリキュラムは、専門科目の他に、基礎スタンダード分野における幅広い教養教育を基礎としています。むつキャンパスは、基礎スタンダード科目を通して、むつ下北を知り、むつ下北の未来を創っていくことを目指しています。



科目名 あおもり学（むつキャンパス）

地元在住の多彩なゲストスピーカーから地域の様々なトピックスや自らの経験談等を通して、専門的な観点から分かりやすく話していただきます。下北の自然、風土、歴史、文化、伝統、産業など様々な角度から語り、学ぶ講義です。

- ▶ 01 ガイダンス「ある下北人の半生から」 担当教員／工藤 和彦 氏
- ▶ 02 「下北を知るは楽しみなり！」 下北を知る会 代表／中川 隆浩 氏
- ▶ 03 「突端から風をおこす！一まちおこしゲリラの流儀ー」 津軽海峡マグロ女子会／島 康子 氏
- ▶ 04 「ワタシが下北に住む理由」 むつ市国際交流推進員／ヘンリー・レイチェル 氏
- ▶ 05 「郷土芸能と私」 民俗芸能学会 会員／田村 智和 氏
- ▶ 06 「忍者と地域活性化」 社会学部／清川 繁人 学部長
- ▶ 07 「陸奥湾の水産資源」 ※青森本校より配信 青森県産業技術センター水産総合研究所総括主幹研究専門員／野呂 恒成 氏
- ▶ 08 「下北の地域づくりの未来展望
～関係人口・6次産業化の取り組みを通して～」 むつ市教育委員 イカす大畑カダル団代表／長岡 俊成 氏

※令和5年度前期の内容です。



科目名 ねぶた学（むつキャンパス）

国の重要無形民俗文化財に指定されている日本の三大火祭り「青森ねぶた」が有名ですが、下北各地でもねぶた祭が行われています。ねぶたの歴史や成り立ち、地域による違い、また現在の運行等について関係者による講義と囃子等の理論的な部分について学びます。また、実際に囃子の体験、制作現場の見学、実際のねぶた本番への参加も検討します。

- ▶ 01 ねぶたの概要①
- ▶ 02 ねぶたの歴史①
- ▶ 03 ねぶたの歴史②
- ▶ 04 ねぶたの制作について
大湊ネブタ制作者・むつ市職員／大久保 洋史氏
- ▶ 05 ねぶた囃子について 理論編
元音楽教諭／木村 昭夫氏
- ▶ 06 ねぶた囃子実演・体験①
囃子連中 北天玄武乃会
- ▶ 07 ねぶた囃子実演・体験②
囃子連中 北天玄武乃会
- ▶ 08 大湊ネブタ祭り参加

※令和4年度前期の内容です。

科目名	教養コア特講
-----	--------

地方創生についての基礎的な知識を身につける講義です。本講義では、特に青森県内・下北地域の地方創生に関わる取り組みを体系的に学びます。講義形式のみならず演習形式と組み合わせ、将来、地方創生に関わるプレイヤーとして活躍できるよう、様々な手法も実践的に学んでいきます。



教員メッセージ



科目担当教員 小寺 将太

「地方創生ってなんだろう？」そんな問い合わせに対して、むつキャンパスでは実践的に学ぶ環境が揃っています。近年、人口減少が起因となり、多くの地域課題が存在しています。上記の講義では、地方創生に関わる歴史や施策などヒントをインプットします。ヒントを得た後、様々な実践者を招聘し、時にはフィールドワークに出かけて得た知識をアウトプットしていきます。理論や知識だけではなく、課題解決のプロセスも実践的に学べる講義が多いのがむつキャンパスです！ぜひ、むつキャンパスでむつ下北を盛り上げていきましょう！

科目名	創成コア特講
-----	--------

本講義では、青森県内の魅力的な企業を発掘するために県内企業へ調査を行い、現地調査のスキルを身につけていきます。また、企業の魅力をどのように発信していくか解決策を企画・提案していきます。企画の実践を通して、県内企業が抱える課題を解決していくことが本講義の目的です。



前むつ市長の特別講義

令和4年6月13日(月)に宮下宗一郎特別招聘教授の特別講義が行われました。ワークショップ形式で「むつ市のまちづくり」をテーマに、アイスブレイクを交えながら、地元就職先、特産品販路開拓、暮らしやすいまちといったグループ別の発表を指導していただきました。



東通村長の特別講義

令和4年12月8日(木)東通村長 畑中稔朗 様による特別講義が行われました。「東通村の未来をつくる政策ワークショップ」として、東通村の地域資源や課題、政策、公約について理解を深めました。講義後半では大学生版円卓会議を実施し、学生からの質問に、優しくわかりやすくお答えいただきました。



総合経営学部 経営学科



総合経営学部
前田 浩 学部長

「自分の好き」につなげよう

企業は資金、設備、社員等で構成されており、ヒト・カネ・モノ・ジョウホウをいかに活用して運営していくかがポイントになります。また、市場分析や顧客ニーズも重要です。

世の中は、AIやITの活用、SDGs的視点の必要性など目まぐるしいスピードで変化しています。今後、経営学の視座で俯瞰することは、企業のみならずスポーツのチーム作りや観光開発、家族や友人等のコミュニティ形成にも大いに役立つはずです。

経営学で学んだことを「自分の好き」につなげて欲しいと思います。

授業紹介

科目名	経営戦略論
担当教員	井岡 佳代子

科目的内容▶私たちの周りには、長い間、激動の時代をくぐり抜け今日まで続いている企業があります。その一方で、数年でつぶれてしまう企業があります。その理由は、どこにあるのでしょうか。

こういった問題、つまり、経営に関する社会現象を理論的に考え、自分なりの分析フレームワークを作る基礎を提供するのが、経営戦略論の講義です。より具体的には、のために、はじめに経営戦略論の基本的な思考・フレームワークを解説した上で、それに関連する事例を紹介し、企業の今日的な課題やその解決策について考察を加えていく、という形式で講義を進めていきます。

担当教員より 「経営戦略論」は経営学の基礎的な科目。一緒に楽しく学びましょう!

ビジネスイノベーションコース

ITや英語など新時代の企業経営に必要な知識とスキルを習得し、中小企業の活性化に必要な独創性や挑戦する心をもった人材を育成するコースです。事業承継（中小企業・商店の跡継ぎ）やベンチャーについて専門的な講義を実施します。

会計コース

企業人にとって必須のスキルである財務・会計情報の読み方、作り方を理論的かつ実践的に学び、実務の即戦力となる人材を育成するコースです。企業を会計で支えるプロを養成する早期一貫教育にも力を入れており、熟練度に応じた日商簿記検定各級に対応した科目を履修できるカリキュラムを用意しています。

青森県には、たくさんの魅力的な自然資源があります。青森オリジナルの新たなマーケティング開発の手法を学び、地域によって持続可能な未来志向の企画をすることによって、自然を生かし、体験を取り入れた新たな観光産業を立ち上げる人材育成を目指します。

フィールド・ツーリズムコース

スポーツを経営・ビジネスの観点から学ぶコースです。スポーツに関する法律、スポーツ施設の管理運営、公認スポーツ指導者の資格・育成、スポーツクラブの運営などを学びます。また、保健体育の教員免許取得に必要な科目も用意しています。

※履修する科目（資格取得等）によっては、一部青森キャンパスで履修が必要となる場合があります。

Check! 観光産業とは？

観光産業は、空港や鉄道などの交通業、ホテル・旅館など宿泊施設や土産品店や飲食店など宿泊販売業も含まれます。

これに加え、様々な体験を組み入れた新たな観光事業を立ち上げる人材が必要です。

民間企業や地域団体と連携し、地域の魅力を磨き上げ、新たな観光産業を創りあげる時です。



在学生インタビュー

総合経営学部 経営学科 2年
二本柳 侑李さん
(青森県立大湊高等学校出身)

日商簿記2級取得に挑戦
将来は地元で自営業をしたい

高校時代から勉強している簿記を極めたいと思い総合経営学部を選択。検定の対策ができる商業簿記の講義に力を入れ、日商簿記検定3級に合格しました。次は2級の取得を目指します。大学生活では、友人と交流や地域との関わりで自分の殻を破ることができました。将来は大学で得た知識を生かして、自営業をすることが目標です。

社会学部 社会学科



社会学部
清川 繁人 学部長

社会基盤を支え、 地域の課題を解決

少子高齢社会に突入している今の日本において、大都市圏と地方との格差は今後増々広がることが予想されます。この青森県でも若い世代の県外流出は「まちづくり」における大きな課題となっています。

さあ、むつ下北地域の未来を作り上げる若者の皆さん！わたしたちと一緒に高度な知識を磨き合い、そしてこの街にしっかりと根を下ろすことで、新しいひかりを灯すその先駆者となり、明日に向かって全速力で駆け出しましょう！

授業紹介

科目名

入門演習

担当教員 工藤 和彦

科目的内容▶入門演習では、地域社会の諸問題を理解し、課題として取り組んでいくため今後の社会学部での学修に必要な技術の基礎を身につけることを目標とします。

具体的には、地域社会の諸問題への着眼、双方面コミュニケーションのための対話法、事例の収集方法、アイディアの発想法、効果的広報のためのデザインなど基本的かつ実践的な事柄を学んでいきます。

担当教員より

地域社会には様々な問題・課題がありますが、「Yes, and…」（肯定してさらに提案）の心がけを忘れずに一緒に前向きに取り組んでまいりましょう！

コミュニティ創生コース

さまざまな社会現象を理解するための視点と、現状を的確に捉えるための方法を学び、地域社会の課題や解決策についての理解を深めます。地域課題について自ら調べて成果を発信、地域団体・NPO・行政機関などと協働して課題解決に取り組む体験を積みます。

体系的に学べる 3つのプログラム

地域課題の解決能力を養うことを目的に、それぞれが一つの視点で貴かれたプログラムを3つ用意しています。

観光プログラム (総合経営学部と合同で開講)

「地域に貢献する観光」「観光経営」の視点から、観光のあり方に迫ります。

地域貢献の最先端を目指す教授陣と 教育プログラム

地域とともに生きる学部を目指し、地方自治体、商工会との密接な協力体制のもと、Think, Plan and Tryの方針で常に新たな学びを提供し、地域の諸課題の解決に向けた理論、体験、実践を進めています。

地域政策 プログラム

公務員や準公共セクター（農協、商工会等）を目指す学生が、基本的知識と実践力を身につけます。

社会調査 プログラム

地域課題を明らかにするためのアンケート等の実施・結果分析をする「社会調査」の手法を体得します。

※社会福祉コースは、青森キャンパスでの受講が必要となります。

※履修する科目(資格取得等)によっては、一部青森キャンパスで履修が必要となる場合があります。

Check!

公務員講座

青森大学では就職人気ランキング上位の「公務員」合格に向けて、公務員試験対策講座を運営している「東京アカデミー」とのコラボレーションにより、公務員講座を行っています。

県庁・市役所・病院・警察・消防・自衛隊など、のべ100名以上の受講生が公務員試験に合格しております。

POINT 1 ステップアップ式の戦略型カリキュラム

POINT 2 継続受講で受講料が50%割引

POINT 3 やむを得ず講座を欠席しても、録画で受講可能

※青森本校からの配信講座となります。※全学部受講可能です。



在学生インタビュー

社会学部 社会学科 2年

川嶋 真実 さん

(青森県立田名部高等学校出身)

自由に挑戦できる環境が
私の背中を押してくれる

むつキャンパスの魅力は、多くの新しい経験を積めることです。年間を通して、資格取得や地域ボランティア、大学内の活動に限らず、新しい挑戦が沢山できました。4大学合同キャンパス祭では実行委員として活動し、運営の難しさや、実行委員だからこそ達成感と充実感を味わうことが出来ました。今後も、自分の将来に向けて力を伸ばしていきたいと思います。

ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科



ソフトウェア情報学部
黒田 茂 学部長

情報技術で 世界にチャレンジ

情報技術（IT）はあらゆる分野の仕事や社会を変革し、またインターネットによって地域や国、文化の壁をも飛び越えようとしています。

これからの世界を担う皆さんには職種・業種を問わず、ITによって生まれ変わるあたらしい世界で通用する本物の知識・技術を身につけることが求められています。

むつキャンパス・青森キャンパス・東京キャンパスから世界につながる新しい学びの場を、皆さんと一緒に作っていくことを楽しみにしています。

授業紹介

科目名	プログラミング演習
担当教員	和島 茂

科目の内容 ▶ この科目ではProcessingという言語を使い、オリジナルのプログラムを設計して作れるようになることを目標とします。プログラミングの経験がなくても大丈夫なように、ひとつひとつ順を追ってテクニックを紹介します。その制作を通じてプログラミングの基本的な考え方方が身に付きます。一度これを身に付ければ様々な分野に応用がきき、高学年での専門的な研究にも役立ちます。

担当教員より 初めてのチャレンジではわからないことがあって当然です。積極的に教員に質問しましょう。

ソフトウェア情報学部では、プログラミング科目を習熟度に応じたグループに分かれて納得いくまで学べます。初めてプログラミングに触れる人も自分に合ったペースで丁寧に学べるので実力がつきます。

▶ ソフトウェア情報学部3つの特徴

プログラミングスキルへのこだわり

4年間のカリキュラムの中心に、常にプログラミング系の科目を中心科目として配置する国内でも有数のプログラミング科目的充実度を誇っています。プログラミングの能力はITスペシャリストにとって最も重要なスキルです。プログラミングを学ぶことで、目の前のあらゆる問題・課題に対して、常にコンピュータプログラムを作るときのように物事を論理的に捉え、抽象化やパターン認識によってモデル化し、適切なアルゴリズムを適用して解決・対応するような考え方（「コンピューションナルシンキング」）ができるようになることを目指します。

研究室で行われている最先端の研究

AI（人工知能）、ロボット、IoT、ネットワーク、クラウド、Webアプリ、マルチメディア、データサイエンス、シミュレーションなど様々なテーマで研究に取り組んでいます。ソフトウェア情報学部では通常より早い3年生の段階で研究室への配慮を行い、学生一人ひとりの興味や能力に応じて研究テーマを設定します。また研究室は少人数のゼミで構成され、2年間をかけて研究に取り組みます。このように各学部の中心科目や重要科目をすべて少人数のゼミ制で行うのがソフトウェア情報学部の特徴のひとつです。

※履修する科目（資格取得等）によっては、一部青森キャンパスでの対面履修が必要となる場合があります。

Check!

むつキャンパスで実施したい新たな試み

※プロボノ…各分野の専門家が、職業上持っている知識やスキルを無償提供して社会貢献するボランティア活動

地域におけるIT教育の充実をはかる取り組みとして、青森キャンパスではGoogle社の後援のもと、高校生・大学生・社会人がお互いに教え合いながら自主的に学ぶ場としてプログラミングセミナ「東北TECH道場」の青森道場を主催しています。Google社から派遣された国内の最先端企業で活躍する講師を招き、Androidアプリ開発や機械学習プログラミングなど、ハンズオン形式で新しいプログラミングのスタイルやテクニックを学んでいます。今後、むつキャンパスや東京キャンパスも交えて、大学生が主体となる新しい「むつ・青森・東京道場」が作られる期待しています。その他、International Open Data Dayや地域のプロボノ*団体 Code for Aomoriとの共同で実施される地域のエンジニアによる講義、青森県警の「サイバー防犯ボランティア」などの学外活動にも授業を通じて1年次の段階から積極的に取り組んでいます。



在学生インタビュー

ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科 2年

山本 奏真 さん
(青森県立大間高等学校出身)

プログラミングの知識を生かし
地方の産業を支えていきたい

私はシステムエンジニアを目指しているので、プログラミング演習や情報リテラシーなど、1年次からPCを操作しプログラミングを学べることが魅力的です。キャンパス内の設備が整っているので、充実した大学生活を送っています。将来はプログラミングの知識を生かして、地方の産業を支えていきたいです。

就職サポート

社会で活躍する夢の実現に向けて全力サポート

仕事は皆さんの人生の大半を占めます。就職活動や将来を考えた際、疑問や不安が出てくると思います。キャリア支援課のサポートは、卒業後の将来を考えるうえで、とても役に立つことでしょう！

Pick Up!! ▶ 安心のサポート体制



早期からのキャリア支援 ➔

1年次から就職を意識した学校生活を送れるように、キャリア支援についてガイダンスを実施します。大学生活でやるべきことが明確となり、将来を見据えたスケジュールを組むことができます。



履歴書・エントリーシート・送付状の添削、ビジネスメールなど、個別に対応します。カウンセリングを重ね、自己分析のサポートをします。



講座・セミナー ➔

ハローワーク・就職支援企業とも連携し、求人票以外の情報や県市町村の雇用施策など、相談を受けながら説明します。また、講座やセミナーも多数開催しています。



面接対策 ➔

メイク講座 ➔

身だしなみやコミュニケーション、質疑応答など、本番同様の緊張感のなか納得がいくまで対策できます。オンライン・対面面接に合わせて、それぞれの特性を理解した面接指導を行います。

Q. キャリア支援課を利用してどうだった？

一人で悩んでいたのが解消！
些細なことでも
早めの相談が◎！



知らなかった
企業の探し方を
教えてくれた！

Q. 保護者からのサポートは？

面接で失敗した私を
いつも励ましてくれた！
おかげで苦しい時期を
乗り越えられた！

やりたいことを全力で
応援してくれた。
資金援助にも
感謝しています！

OBからメッセージをいただきました！



むつ市役所 勤務

大久保 洋史 さん
経営学部 産業学科 2000年度卒業

→ 地元のため、人のため、 市民のために働きたい

生まれ育ったむつ市でむつ市のために働きたい思いがありました。また小さいころから大湊ネブタの制作になりたいという夢があったので、大学時代は大湊ネブタの制作に弟子入りし、制作期間中は毎日、むつ市の実家と大学を往復していました。現在は廃棄物行政を担当しており、令和3年8月の「むつ市・風間浦村豪雨災害」では、大畠地区で発生した災害廃棄物の収集や処分に係る業務を担当しました。また、師匠とともに大湊ネブタの制作も続けています。これからも地元のために、仕事や様々な活動をしていきたいと思います。

社会福祉法人みちのく福祉会
はまゆり学園 勤務菊池 望 さん
社会学部 社会学科 2021年度卒業

→ 様々な人と関わり成長した 大学時代の経験が自信に

他学部や地域との交流が盛んなところが青森大学の魅力の一つだと思います。学業以外ではオープンキャンパスや学外活動に力を入れ、年代や専門が違う人と関わることで、考え方や選択の幅が広がり成長できたと感じました。現在は障がい児の生活支援を行っています。児童が自ら今日一日の出来事や気持ちを話してくれた時は、特にやりがいを感じられて嬉しいです。感謝の気持ちを忘れず、常に利用者一人ひとりと同じ目線で寄り添い、心が軽くなるような関わりを目指していきたいです。

下北地域広域行政事務組合
大湊消防署 勤務山本 貴幸 さん
社会学部 社会学科 1998年度卒業

→ 目標に向かう強い意志 災害から地域住民の命を守る

陸上競技部に所属していたが、当時は弱小の部だったので、同期の仲間と一緒に強くなることを決起。練習場所確保のため施設と交渉したり、練習方法を工夫したりと努力した結果、東北インカレで上位に入賞する部になりました。また、在学中に発生した阪神・淡路大震災の報道から、避難する人の流れに逆らい、倒壊家屋や火災延焼の方向へ進む消防隊員の姿に感銘を受け、元々志望していた消防隊員への道を強く意識するようになりました。今は、むつ・下北地域で発生する災害、火災、救急、救助等に24時間体制で対応しています。

キャンパスライフ



サークル&部活動

■ フェンシング部



フェンシングは中世ヨーロッパの騎士たちの剣技に由来するスポーツで、ピストと呼ばれるコートで1対1で試合が行われます。未経験者大歓迎！一緒に全国大会を目指しましょう！

■ 陸上競技部



陸上競技は主に「走る、飛ぶ、投げる」に分かれています。だれでも気軽に始めることができます。大学で新しいことを始めたい、運動不足を解消したい、己と向き合い自分に打ち勝ちたい…そんなあなた！陸上を始めませんか？

■ 動画編集サークル



好きなテーマで好きな動画を作るサークルです！パソコンだけでなく、スマートフォンでも簡単に編集して、むつキャンパスPR動画やYouTubeの切り抜きなど、楽しく作ろう♪



Q&A

むつキャンパスについて知ろう!!

Q 下北地域外の出身でもむつキャンパスで学ぶことは可能ですか？

A 可能です。入学手続時にむつキャンパスで学びたいことをお知らせください。

Q 既卒者（社会人）はおりますか？

A 入学しております。

〈入学者の声〉 数学や英語など、学生時代の授業についていけるか心配でしたが、担当教員が私にあった指導法で個別に対応してくださるので、現役学生はもちろん、社会人でも深い学びを得られることがむつキャンパスの魅力だと思います。

Q 学べる学部を教えてください。

A 総合経営学部、社会学部、ソフトウェア情報学部の3学部となります。ただし、社会学部社会福祉コースと教職取得希望者は、2年次から本校（青森）で学ぶことが必要となります。

Q 各キャンパスで学納金は異なりますか？

A どこのキャンパスで学んでも学納金は同じです。

経済的理由で進学を諦めない！

「高等教育の修学支援新制度」

2020年4月から家庭の経済状況に関わらず進学できるチャンスを確保できるよう、文部科学省による高等教育の修学支援新制度が開始されました。こちらの制度では、「入学金・授業料の免除または減額」と、「返還を要しない給付型奨学金」の2つの支援が受けられます。

区分	世帯収入	授業料等減免		給付型奨学金
		入学金減免額	授業料減免額(年間)	
第Ⅰ区分	270万円以下 (住民税非課税世帯)	約26万円(上限)	約70万円(上限)	自宅生 約46万円 自宅外生 約91万円
第Ⅱ区分	約300万円以下	第Ⅰ区分の2/3 約17万円	第Ⅰ区分の2/3 約46万円	自宅生 約30万円 自宅外生 約60万円
第Ⅲ区分	約380万円以下	第Ⅰ区分の1/3 約8万円	第Ⅰ区分の1/3 約23万円	自宅生 約15万円 自宅外生 約30万円

※表の内容は、申込みにあたっての目安となります。世帯構成等によっては、目安の金額を上回っていても対象となる場合があります。制度の詳細や最新情報については、日本学生支援機構ホームページをご確認下さい。

※出席日数や成績等が基準を満たさなかった場合、支援制度が解除される場合があります。

「むつ下北地域特別優遇制度」

下北地域に住所を有する（住民票がある）方は、入学金が免除となります。原則として、むつキャンパスで学ぶ方が対象です。

入試や大学についての疑問・質問を個別説明会で回答いたします。

Zoom個別相談会

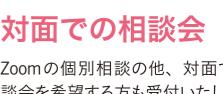
Zoomを使って進路相談！！
資料を見ながら説明を受けられます！

対象：高校生・保護者・高校教員

開催日時：毎日開催 ※平日のみ

時間：最大60分／1回

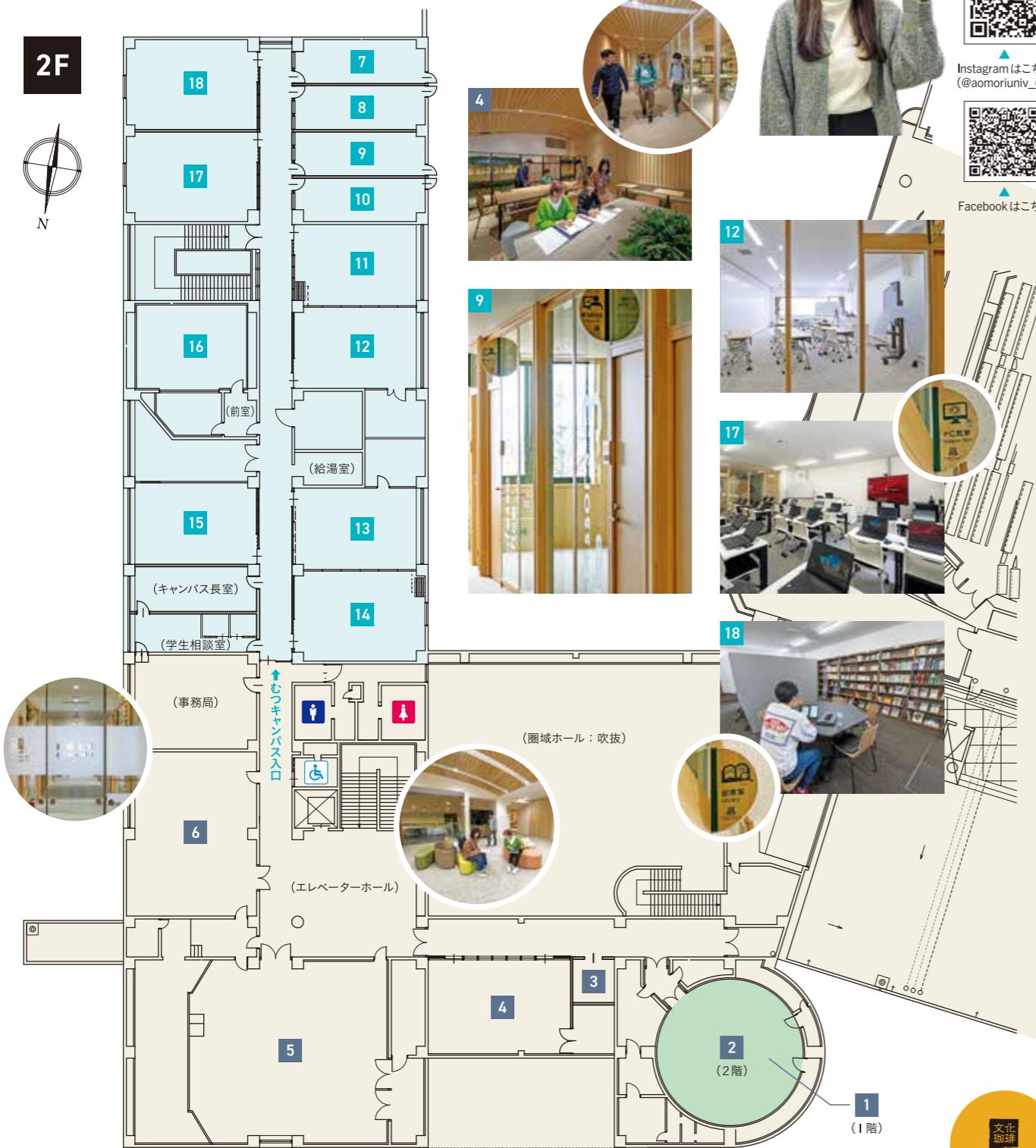
申込方法：完全予約制



Zoomの個別相談の他、対面での相談会を希望する方も受付いたします。
むつキャンパス事務局へ、お気軽にご相談ください。



施設マップ



【共有スペース】

- 1 下北文化珈琲店（1階）
- 2 フィッシュボウルルーム
- 3 自動販売機
- 4 コミュニティラウンジ
- 5 大集会室
- 6 集会室

【むつキャンパス内】

- 7 第1研究室
- 8 第2研究室
- 9 第3研究室
- 10 第4研究室
- 11 第1教室
- 12 第2教室
- 13 第3教室
- 14 第4教室
- 15 第5教室
- 16 スタジオ
- 17 PC教室
- 18 図書室



関連機関

学校法人 青森山田学園

